

**Iwatani**

**2020年3月期  
中間決算説明会**

**2019年11月18日**

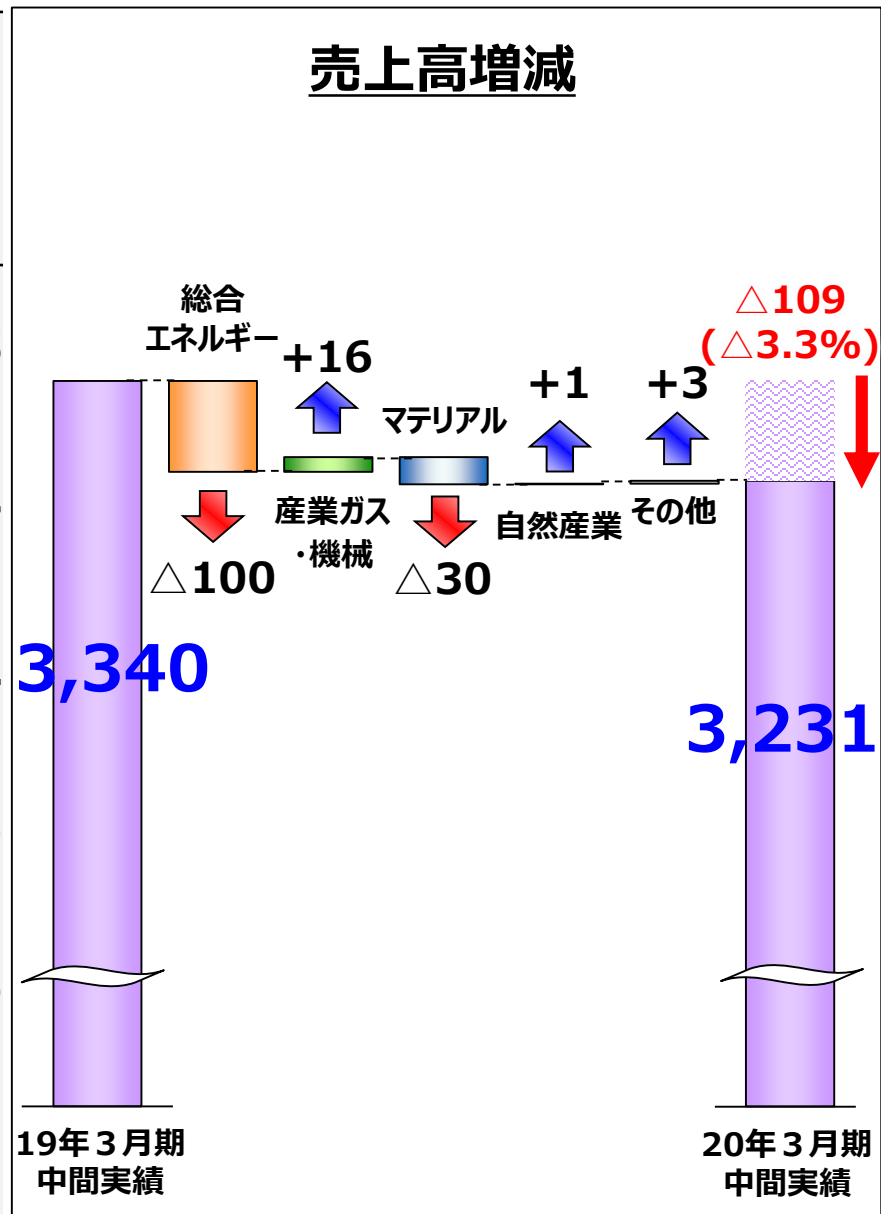
**岩谷産業株式会社**

- 2020年3月期 中間決算概況
- 2020年3月期 通期業績予想
- 事業トピックについて

# 2020年3月期 中間決算概況

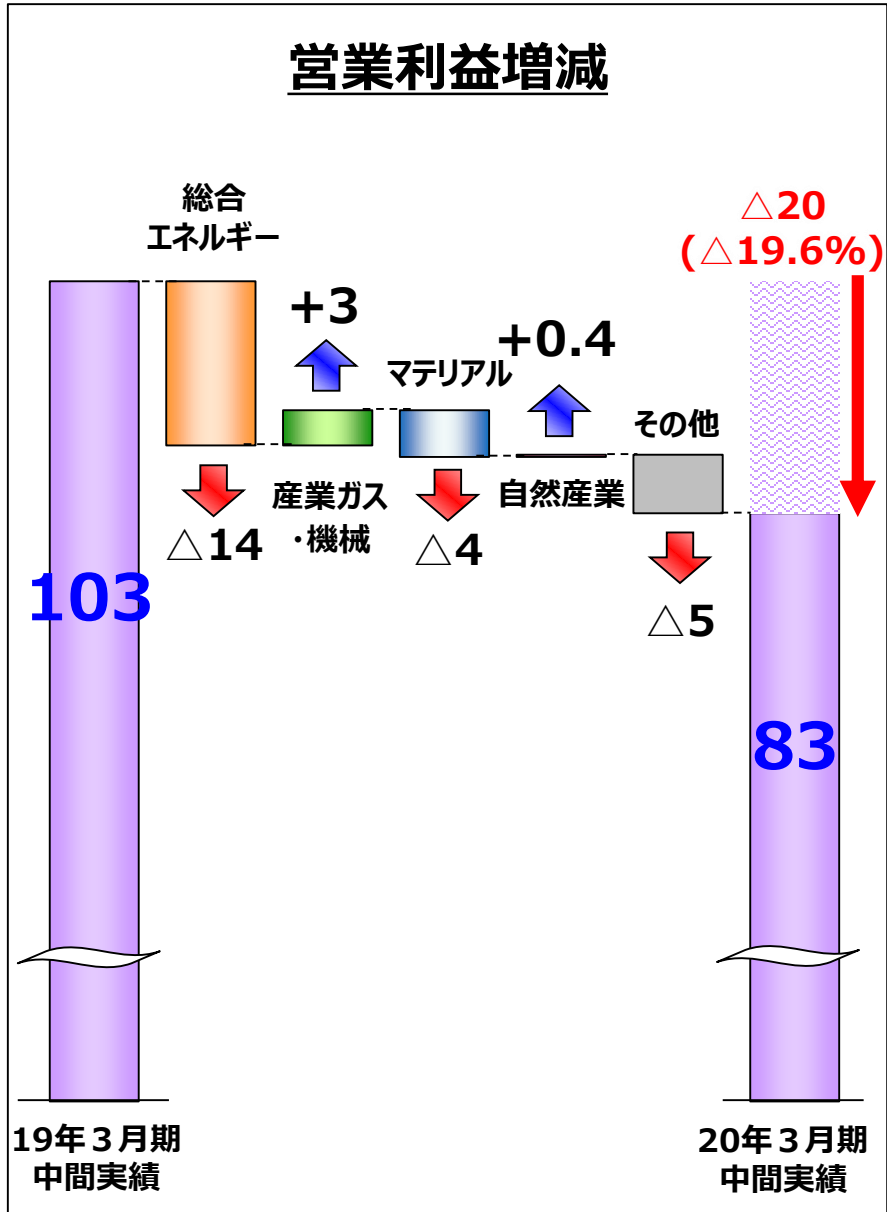
## 減収の要因分析

	2020年 3月期 中間実績	2019年 3月期 中間実績	前年差 (増減額)	2020年 3月期 中間予想
売上高	3,231	3,340	△109	3,405
売上 総利益	801	805	△4	-
営業利益	83	103	△20	102
営業外損益	15	14	+1	13
経常利益	98	117	△18	115
親会社株主に 帰属する 当期純利益	62	74	△12	71



## 減益の要因分析

	2020年 3月期 中間実績	2019年 3月期 中間実績	前年差 (増減額)	2020年 3月期 中間予想
売上高	3,231	3,340	△109	3,405
売上 総利益	801	805	△4	-
営業利益	83	103	△20	102
営業外損益	15	14	+1	13
経常利益	98	117	△18	115
親会社株主に 帰属する 当期純利益	62	74	△12	71

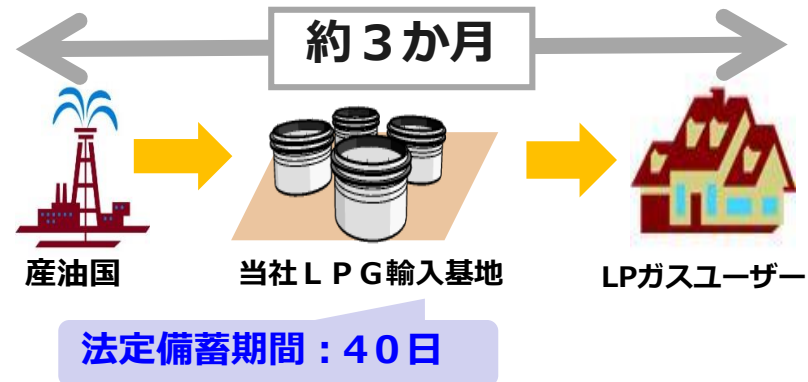


前提

①卸売価格はLPガス輸入価格に連動

②輸入～販売の期間は約3ヶ月

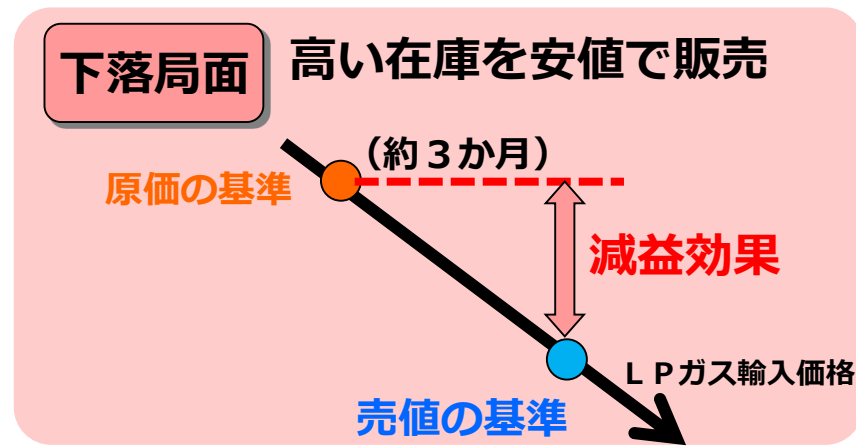
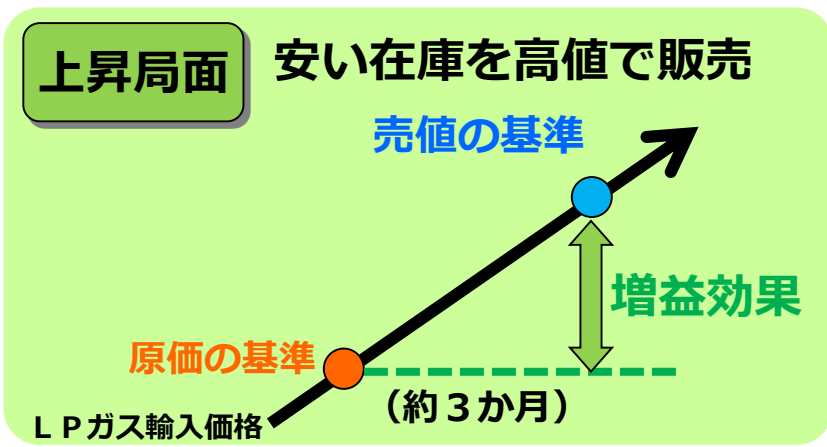
卸売価格 ∝ LPガス輸入価格  
(中東玉(CP)と米国玉(MB)で構成)



LPガス輸入価格が変動

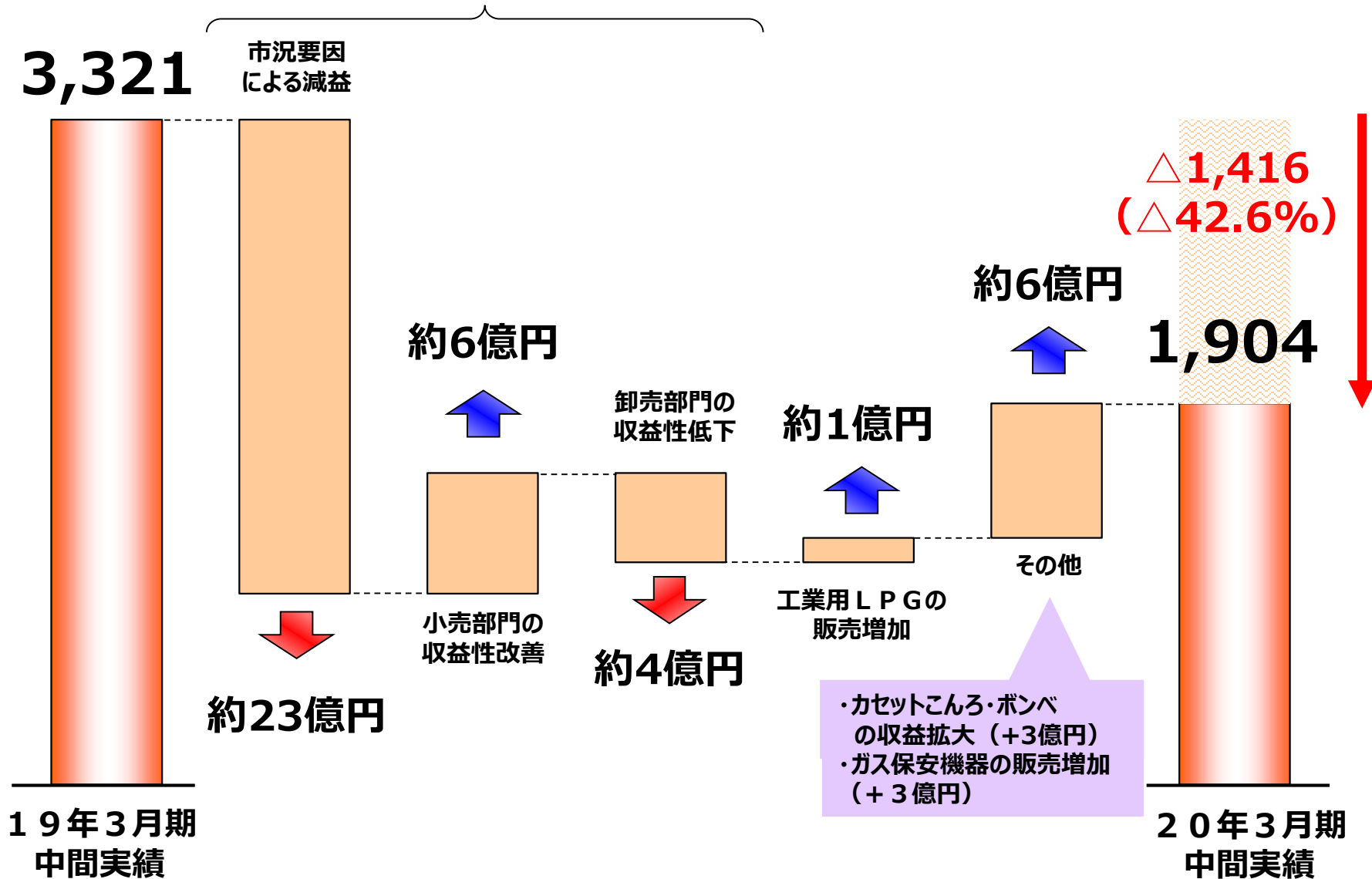
短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

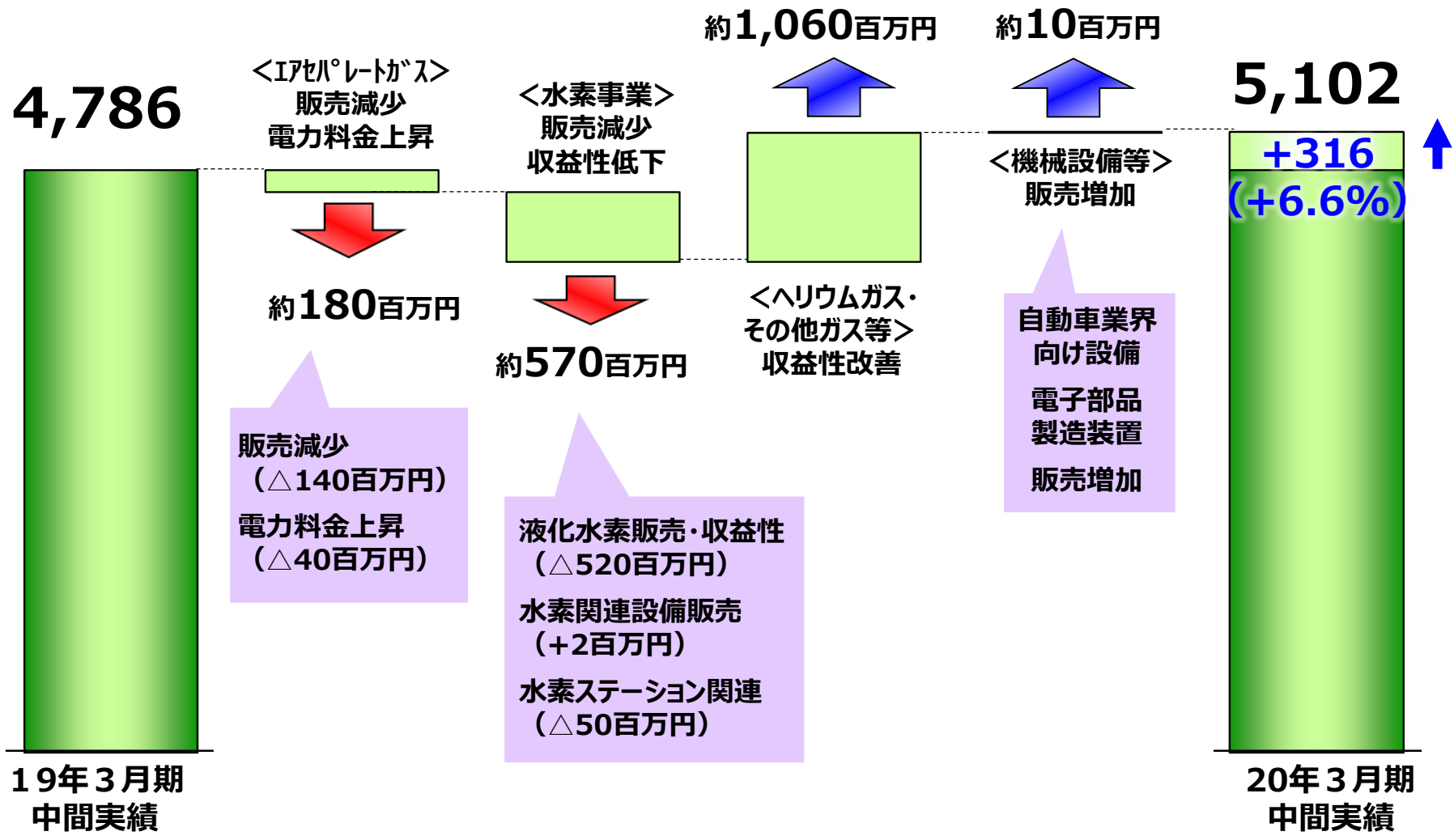
(LPガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ) ※



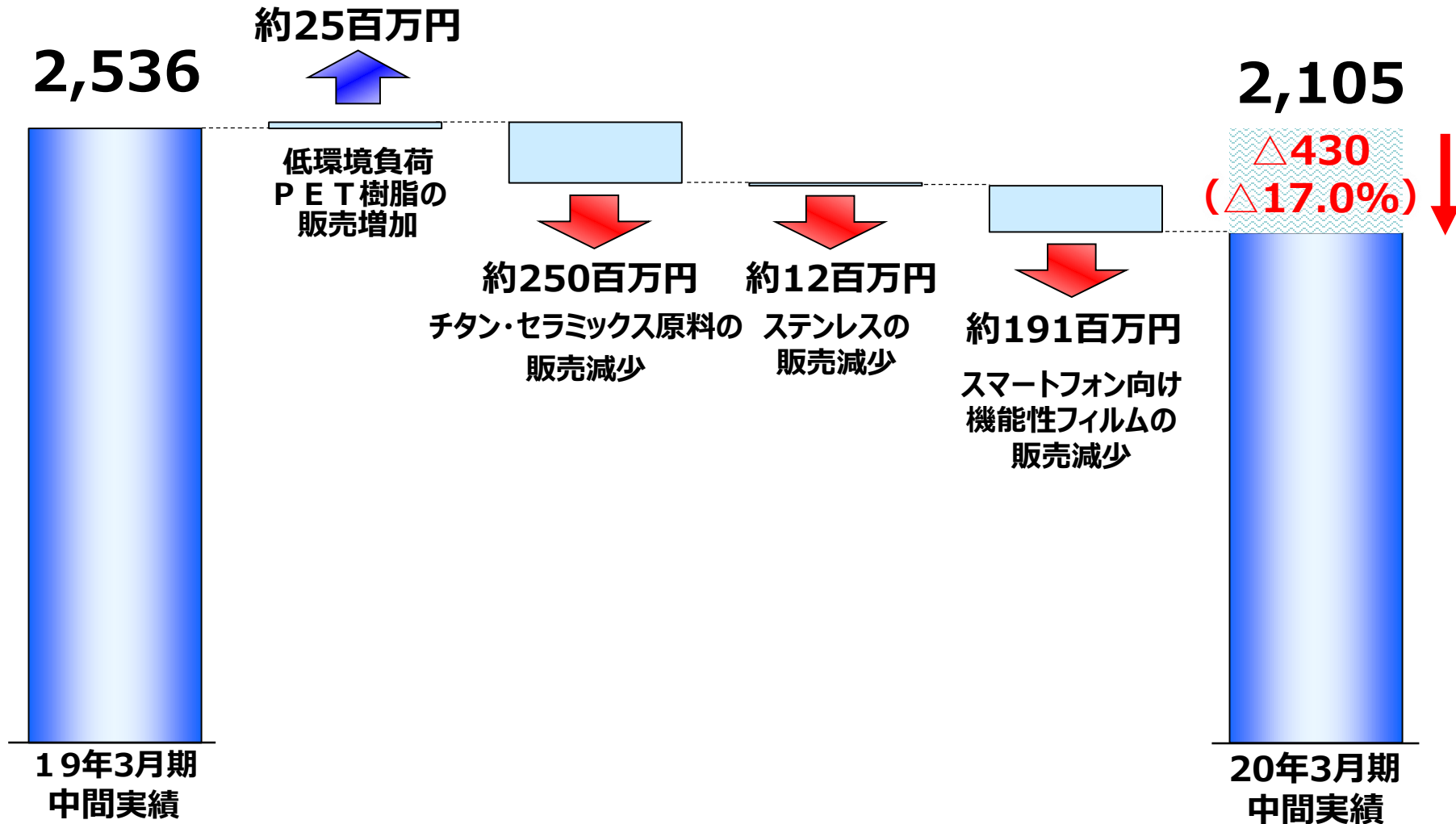
※在庫量・販売時期・販売数量等によって実際の業績への影響は変動します

## 民生用LPガス

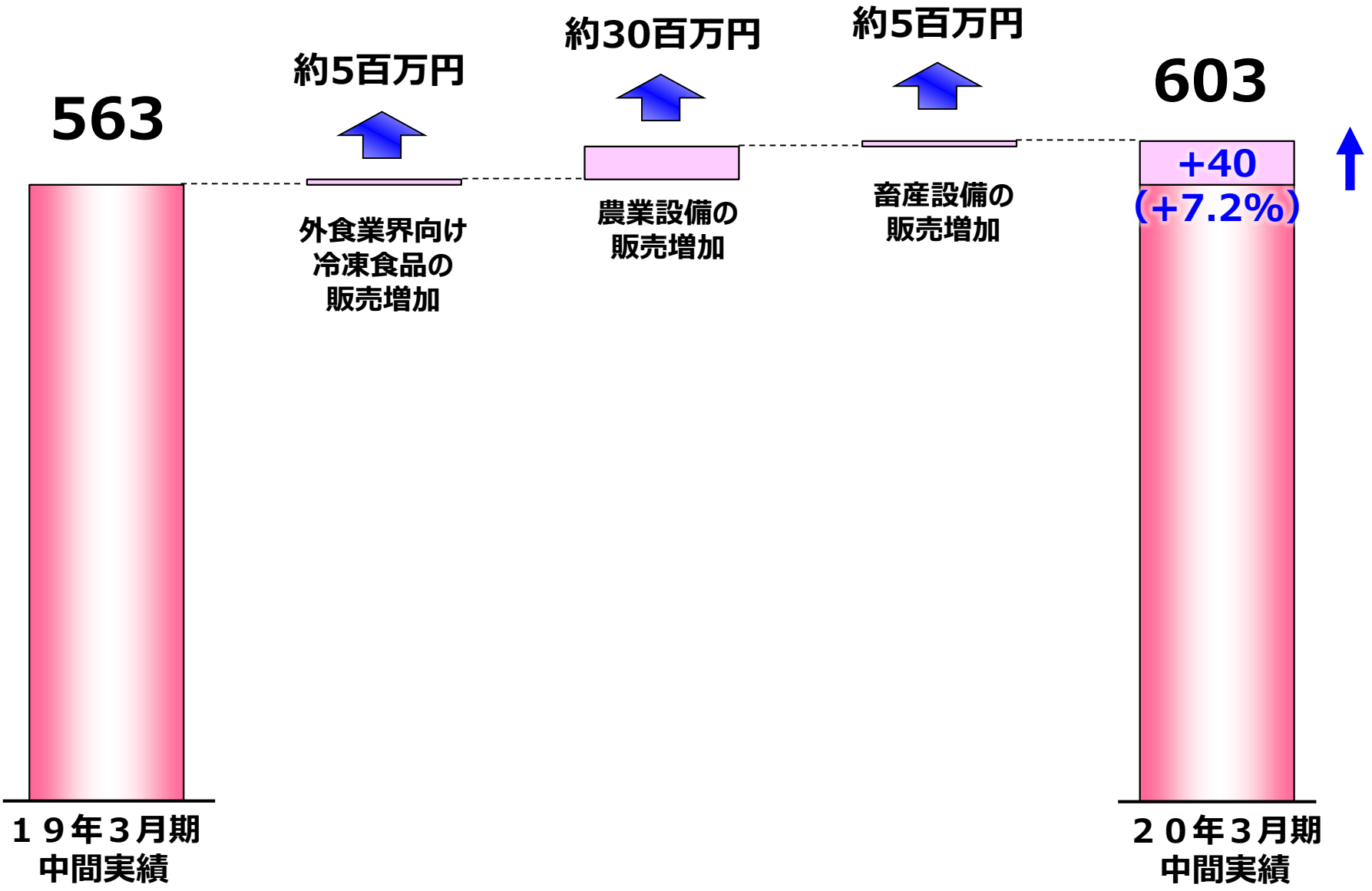








# 自然産業事業 営業利益増減分析



## 貸借対照表 (連結)

	2019年 9月末	2018年 9月末	前年差 増減額	主な増減理由
流動資産	1,972	1,897	+75	
有形固定資産	1,693	1,621	+71	水素ステーションやヘリウムコンテナへの投資
無形固定資産	172	172	+0	
投資その他の資産	789	849	△60	保有株式の時価下落による投資有価証券の減少
固定資産	2,655	2,643	+11	
総資産	4,628	4,540	+87	
流動負債	1,669	1,702	△32	L Pガス輸入価格が前期と比べ低かったことによる仕入債務の減少
固定負債	1,191	1,117	+74	長期借入金の増加
負債	2,861	2,819	+41	有利子負債 1,480億円 有利子負債依存度 32.0%
自己資本	1,682	1,605	+77	(自己資本比率 36.3%)
非支配株主持分	84	116	△31	
純資産	1,766	1,721	+45	
負債・純資産	4,628	4,540	+87	

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2020年3月期 中間実績	2019年3月期 中間実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	42	77	△35
投資キャッシュ・フロー	△168	△102	△65
フリー・キャッシュ・フロー	△125	△24	△101
財務キャッシュ・フロー	180	22	+158
換算差額等 ※1	△3	0	△4
現預金等の増減額 ※2	51	△1	+53
現預金等の期首残高	195	177	+17
現預金等の期末残高	246	175	+70

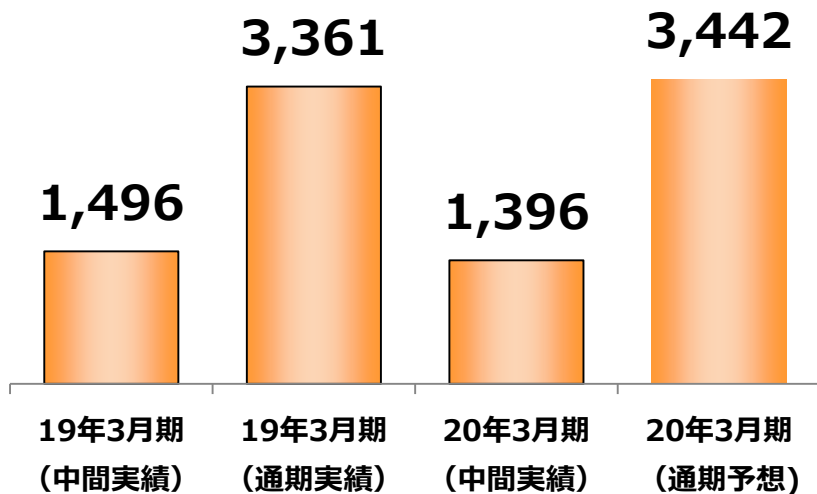
※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております。

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております。

# 2020年3月期 通期業績予想

## 売上高

(億円)

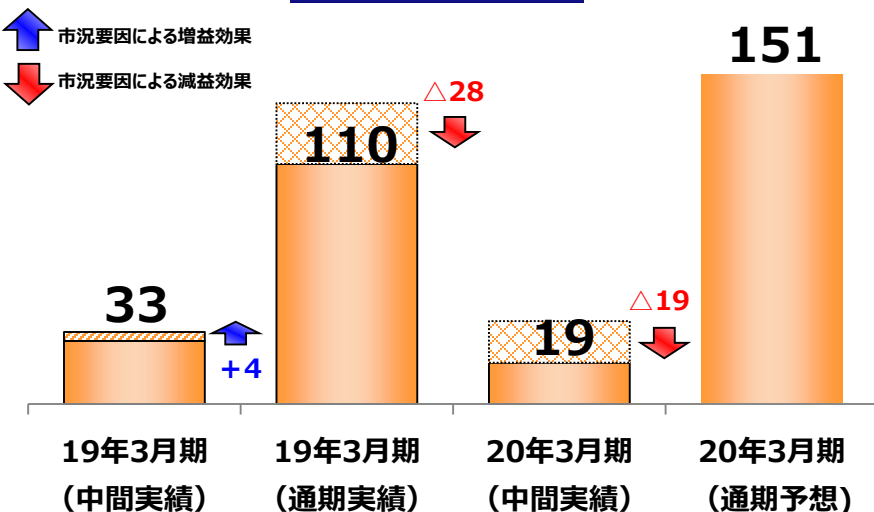


## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・ L P ガスの拡販
- ・ カートリッジガス商品の拡販
- ・ ガス機器の拡販

## 営業利益

(億円)



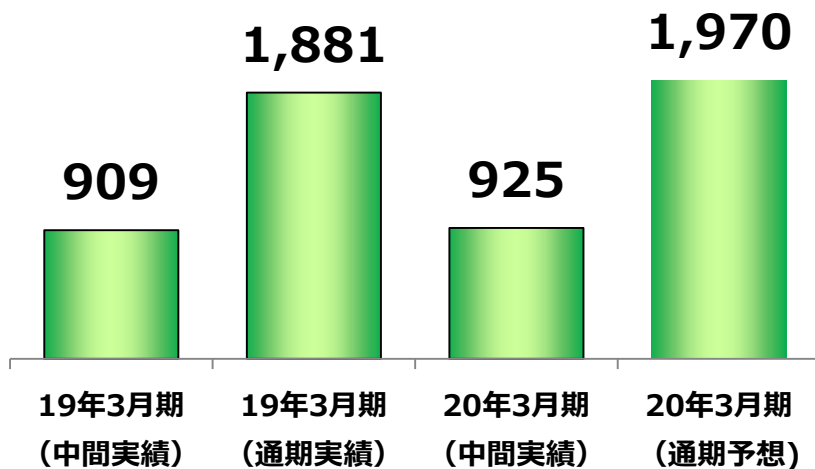
## 業績が変動するリスク要因

- ◇ L P ガス輸入価格、為替の動向
- ◇ 気温変動による販売数数量への影響

# 産業ガス・機械事業の見通し

## 売上高

(億円)

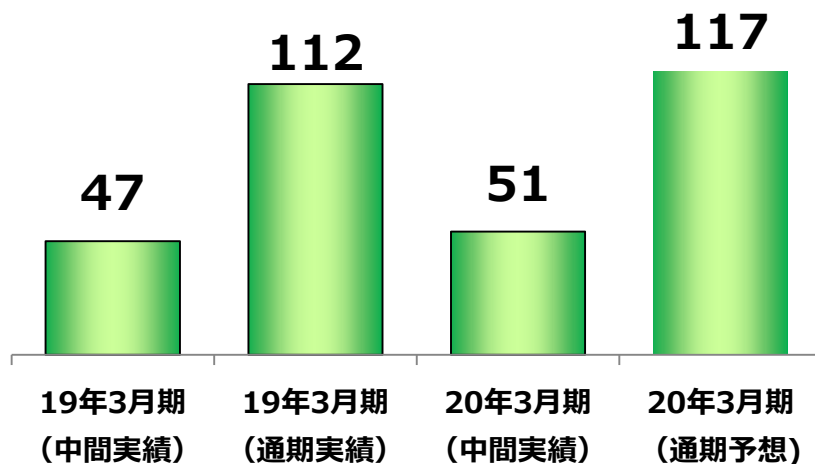


## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・ヘリウムの安定供給及び収益改善
- ・各種産業ガスの拡販
- ・機械設備の拡販

## 営業利益

(億円)



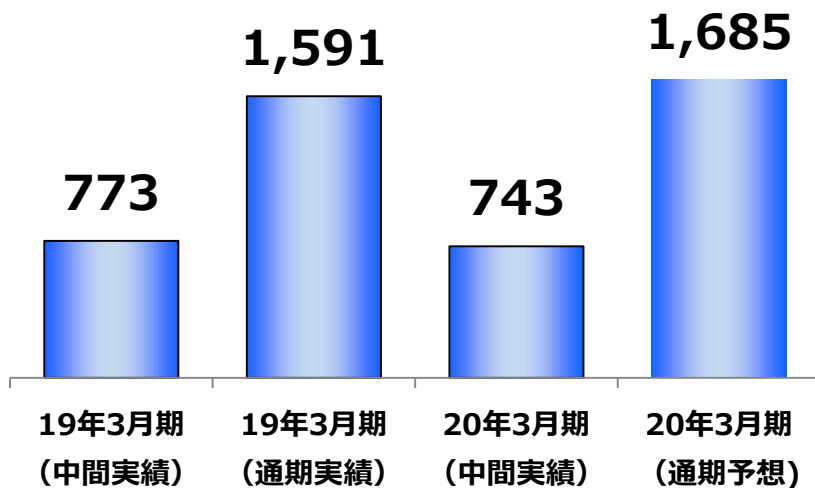
## 業績が変動するリスク要因

- ◇ 電力料金上昇による製造コストへの影響
- ◇ 国内外の景気低迷
- ◇ 為替変動

# マテリアル事業の見通し

## 売上高

(億円)

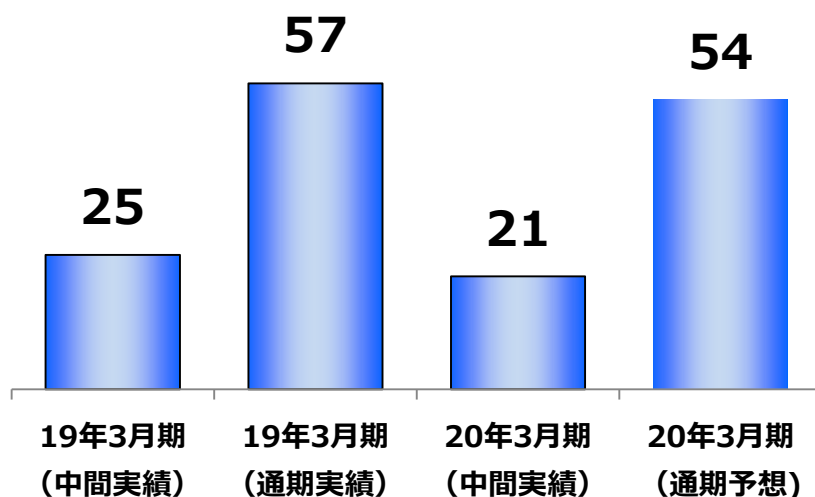


## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・低環境負荷PET樹脂原料の拡販
- ・バイオマス事業の拡大
- ・二次電池材料の拡販

## 営業利益

(億円)



## 業績が変動するリスク要因

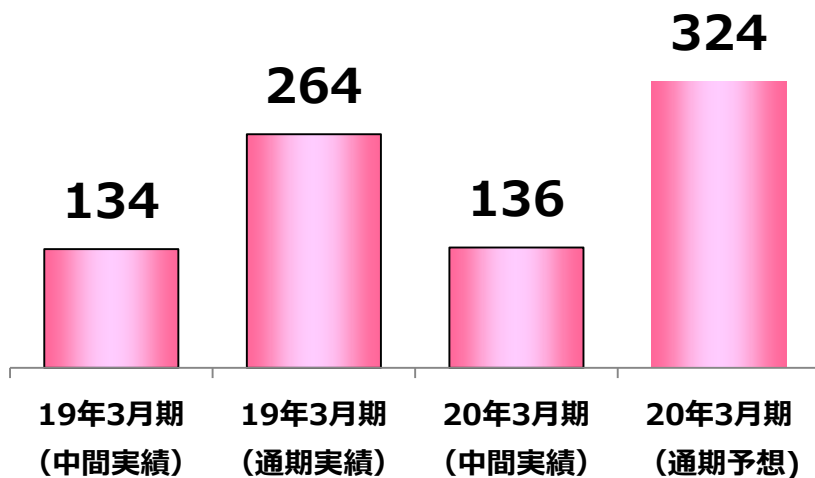
- ◇顧客企業の工場稼働率の低下
- ◇資源市況の変動
- ◇為替変動



# 自然産業事業の見通し

## 売上高

(億円)

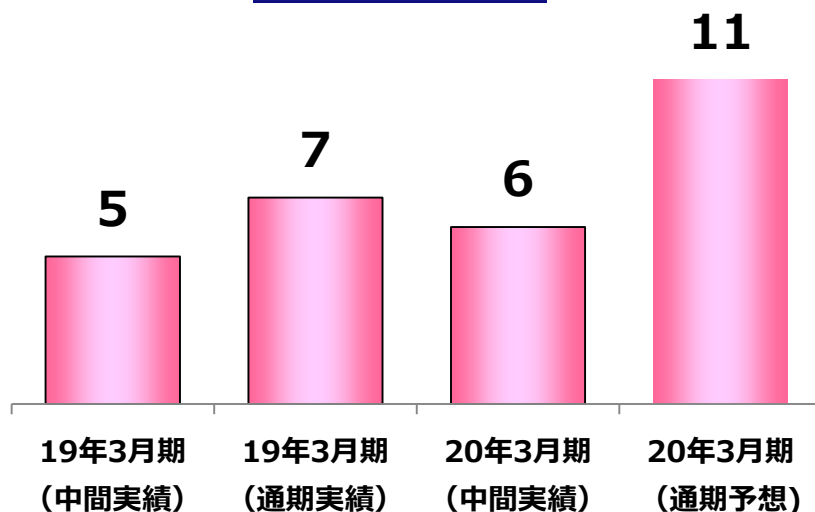


## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・冷凍食品の拡販
- ・農業設備の拡販
- ・種豚の拡販

## 営業利益

(億円)



## 業績が変動するリスク要因

- ◇為替変動
- ◇原材料価格変動
- ◇天候不順

# 2020年3月期 通期業績予想

**Iwatani**

(単位：億円)

	2020年3月期 業績予想	2019年3月期 実績	前年差 (増減額)	前年比 (%)
<b>売上高</b>	<b>7,473</b>	<b>7,150</b>	<b>+322</b>	<b>+4.5%</b>
総合エネルギー事業	3,442	3,361	+80	+2.4%
産業ガス・機械事業	1,970	1,881	+88	+4.7%
マテリアル事業	1,685	1,591	+93	+5.9%
自然産業事業	324	264	+59	+22.5%
その他	52	52	+0	△1.0%
<b>営業利益</b>	<b>305</b>	<b>264</b>	<b>+40</b>	<b>+15.3%</b>
総合エネルギー事業	151	110	+40	+36.5%
産業ガス・機械事業	117	112	+4	+3.8%
マテリアル事業	54	57	△3	△5.9%
自然産業事業	11	7	+3	+38.5%
その他・調整額	△ 28	△ 24	△ 3	—
<b>経常利益</b>	<b>330</b>	<b>299</b>	<b>+30</b>	<b>+10.2%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>205</b>	<b>192</b>	<b>+12</b>	<b>+6.7%</b>

想定レート

為替 110円/\$

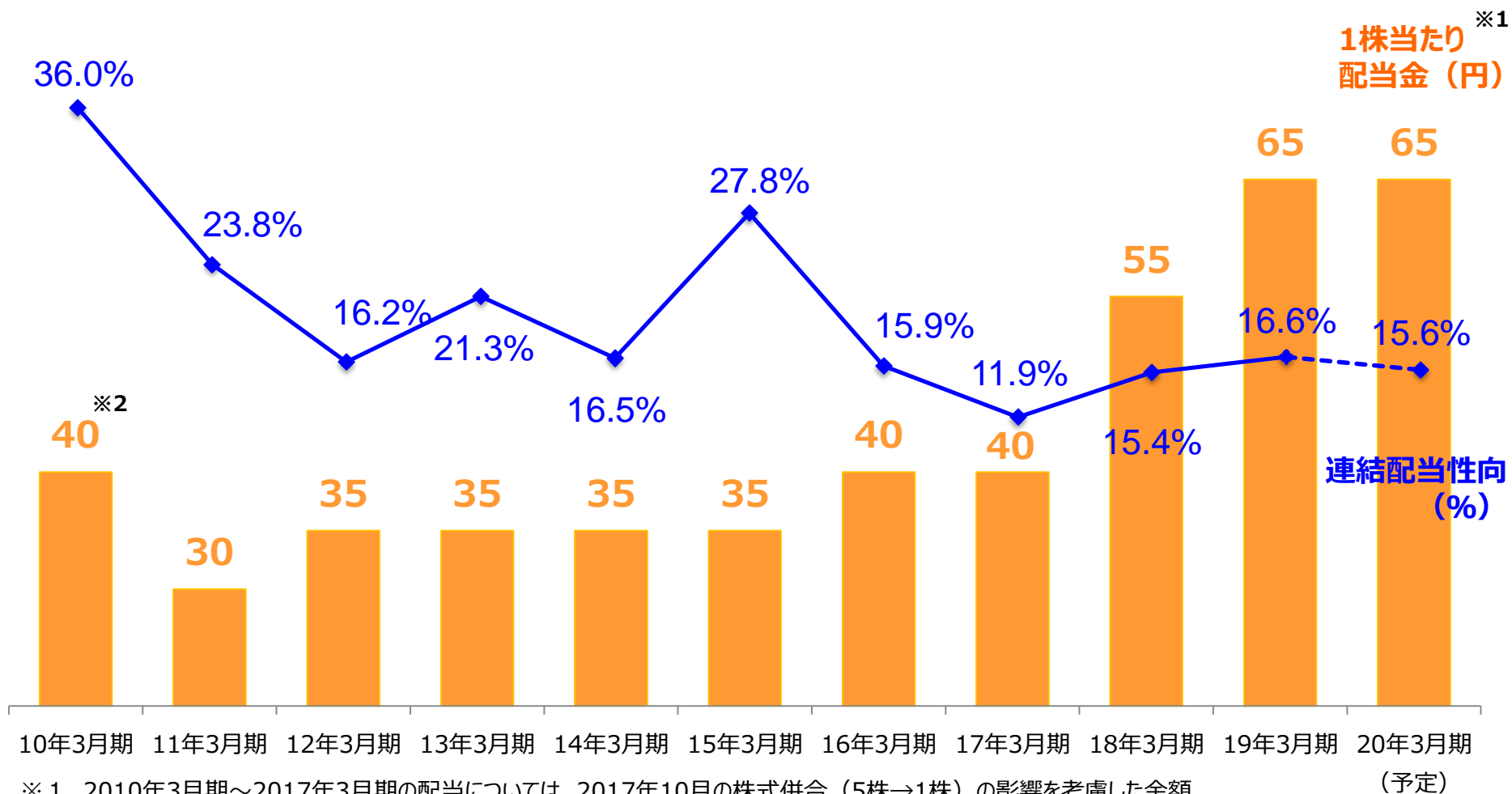
LPガス輸入価格 490 \$/ト

※2020年3月期よりセグメント区分を一変更しており、それに伴い2019年3月期実績も組み替えております。

# 株主還元について（連結）

## 配当方針

- ・継続的かつ安定的な配当の実施が基本方針
- ・業績や経営環境を勘案しつつ適正な利益還元を実施



※1 2010年3月期～2017年3月期の配当については、2017年10月の株式併合（5株→1株）の影響を考慮した金額

※2 うち記念配当15円含む（株式併合の影響を考慮）

# 事業トピックについて

# LPガスの安定供給に向けた取り組みについて

## 被災地での復旧活動と防災設備の整備推進



登録隊員人数 / 全国3,600名

Marui Gas 災害救援隊



LPガス非常用発電機とLPガス災害バルク



GHP



# ヘリウムの安定供給に向けた取り組みについて

## 国内最大級のヘリウムセンターを建設 高効率のヘリウム回収設備の利用によるロス低減



東京ヘリウムセンター（新設）



ヘリウムの充填容器（デュワー）



大阪ヘリウムセンター（既存）



## 水素ステーションの整備



水素閣僚会議の様子

水素閣僚会議  
今後10年間の目標値 (世界)

燃料電池システム1,000万台

水素ステーション10,000カ所

水素基本戦略での目標値 (国内)

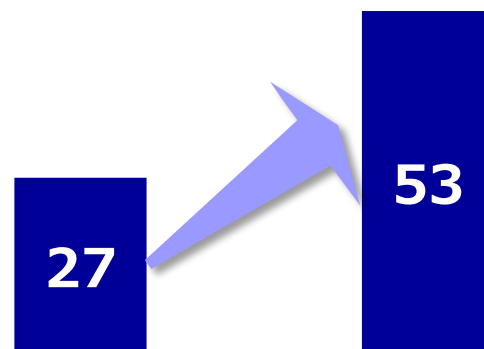
水素ステーション900カ所 (2030年)

F Cバス100台 (2020年)



イワタニ水素ステーション 東京有明

当社の水素ステーション



2019年9月末

2020年度末



## 米国での水素事業拡大



Iwatani West Sacramento H2 Fueling



Iwatani San Ramon H2 Fueling



Iwatani Mountain View H2 Fueling

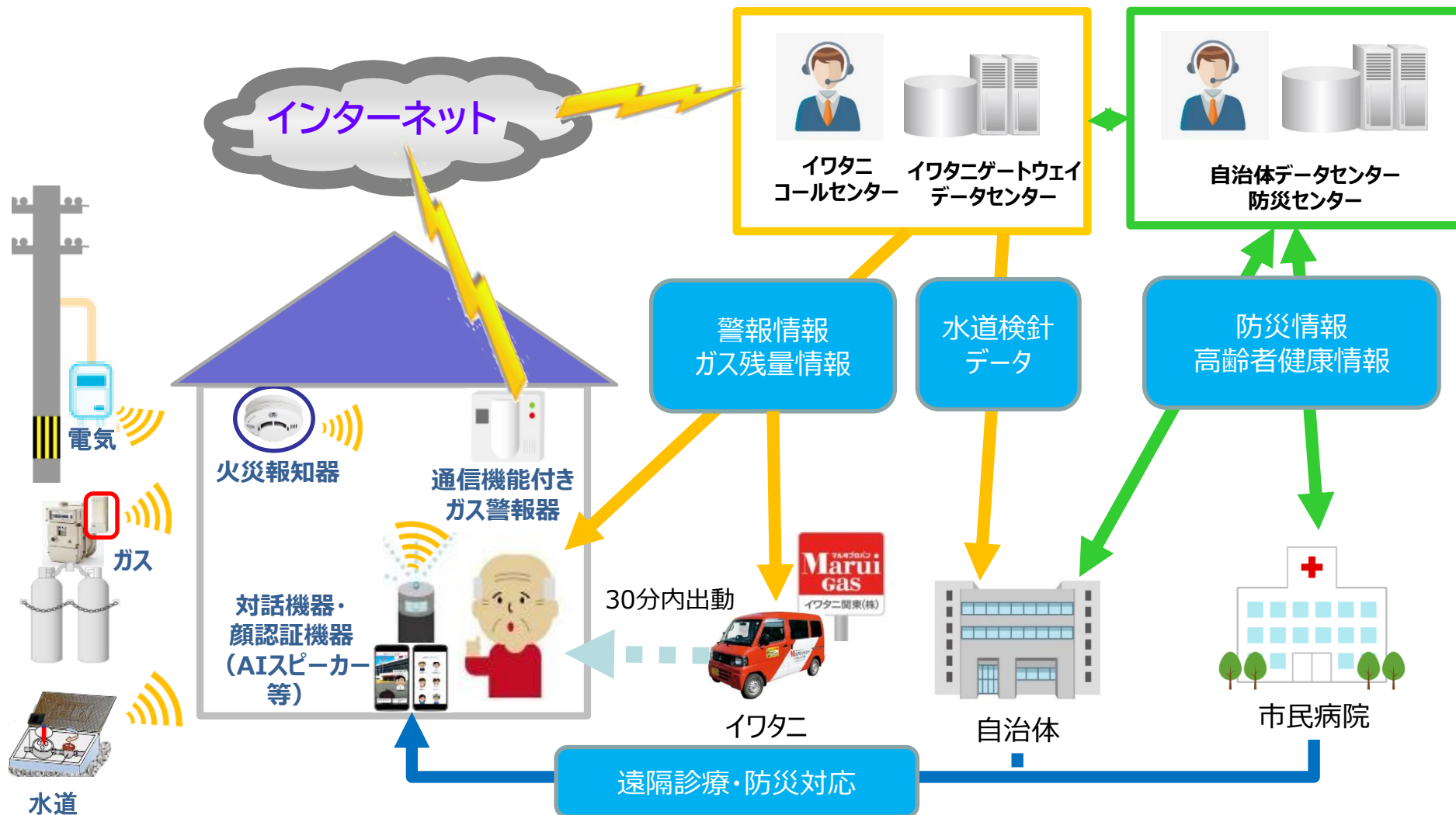


Iwatani San Juan Capistrano H2 Fueling



# イワタニゲートウェイへの取り組みについて

## 通信機能の実証と自治体との連携



イワタニゲートウェイ構想（一例）

# Iwatani

## お問合せ先

岩谷産業株式会社 経営企画部 IR担当

TEL:06-7637-3470

FAX:06-7637-3333

Webサイト:<http://www.iwatani.co.jp>

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。